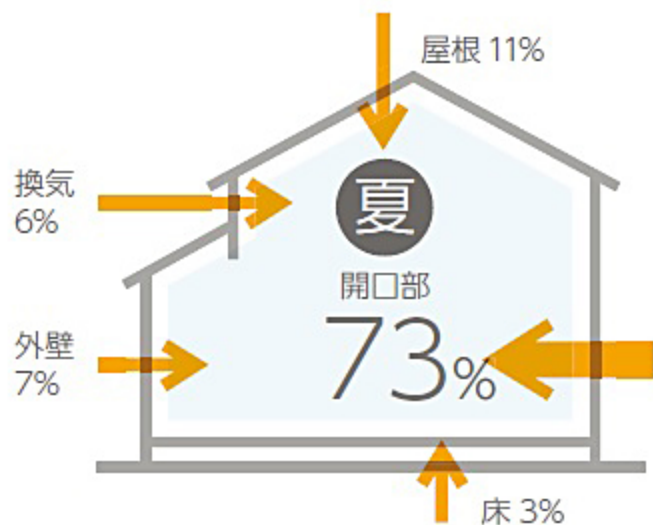


窓からの熱の出入りのコントロールが大切。

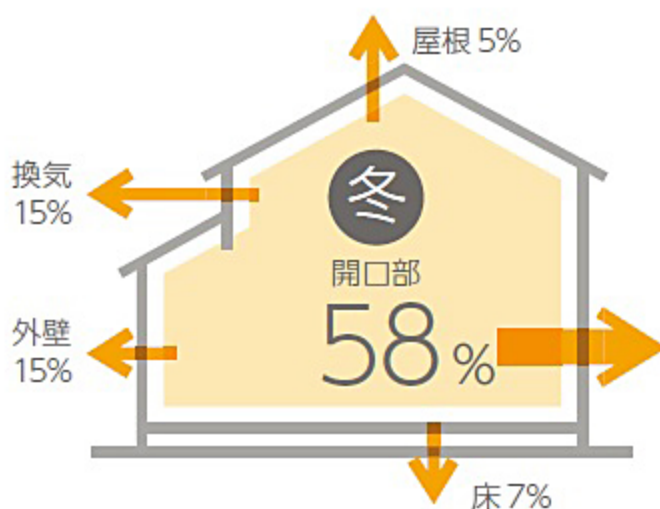
熱の出入りが最も多いのは、窓やドアなどの開口部。

夏の冷房時には約7割の熱が開口部から流入、冬の暖房時で約5割が流出します。

熱の流入割合(夏の冷房時)



熱の流出割合(冬の暖房時)



参考:(一社)日本建材・住宅設備産業協会 省エネルギー建材普及促進センター「省エネ建材で、快適な家、健康な家」より

心地よい室内環境を守る、圧倒的な断熱性能。

FG-H/Sは寒冷地にも耐える優れた断熱性能で、一年中快適な室内環境を守ります。

防火戸FG

【平成25年省エネルギー基準】

建具とガラスの組み合わせによる開口部の熱貫流率:

2.33 [W/(m²·K)]Low-E複層(空気層10mm以上)の場合

防火戸FG

JIS A 4710に基づく代表試験による開口部の熱貫流率:

2.85 [W/(m²·K)]単体引違い窓16513 6.8+A10+Low-E5の場合

家計にも地球にもやさしい、大きな省エネ効果

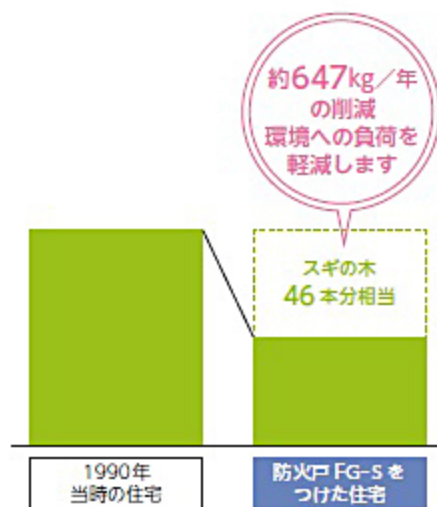
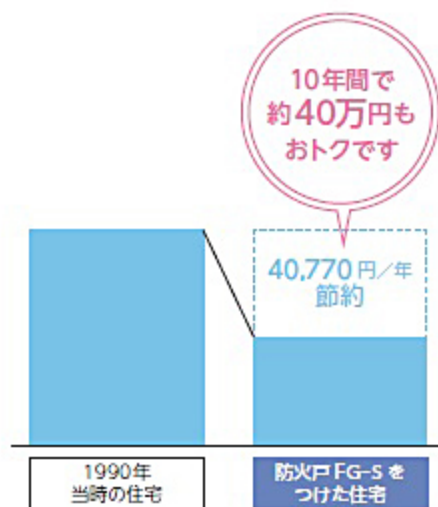
優れた断熱性能で、暖房時の熱の流出、冷房時の熱の侵入を抑制し、暖冷房の効率を高めます。

冬は暖かく、夏は涼しい室内を実現し、電気の使用量を減らすことで、暖冷房費やCO₂排出量を大幅に低減します。

防火戸FG-S

年間暖冷房費比較 (Low-Eの場合)

年間CO₂削減量



年間暖冷房費を約4万円も節約。

年間約647kgのCO₂を削減。

【省エネ効果算出条件】

- 熱負荷計算プログラム「AE-Sim/Heat」(株)建築環境ソリューションズにより算出
- 2階建て/延べ床面積:120.08㎡、開口率:26.8%
- 「平成25年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説Ⅱ住宅」標準住戸のプラン
- 4人家族
- 想定暖冷房機器…エアコン、暖房:20℃/冷房:27℃・60%
- 暖冷房運転:間欠運転
- 拡張アメダス気象データ2000年版の東京を使用
- 住宅断熱仕様…<1990年当時の住宅>昭和55年省エネルギー基準適合レベル<防火戸FG-Sを使った断熱住宅>平成25年省エネ基準適合レベル
- 居室の窓(9窓)にレースカーテンを併用
- 電気料金:27円/kWh、CO₂排出係数:0.43kg-CO₂/kWh

断熱・基本性能

ライフスタイルの違いを超えてあらゆる人に必要な基本性能を徹底追求。
住まい全体の快適性を向上させます。

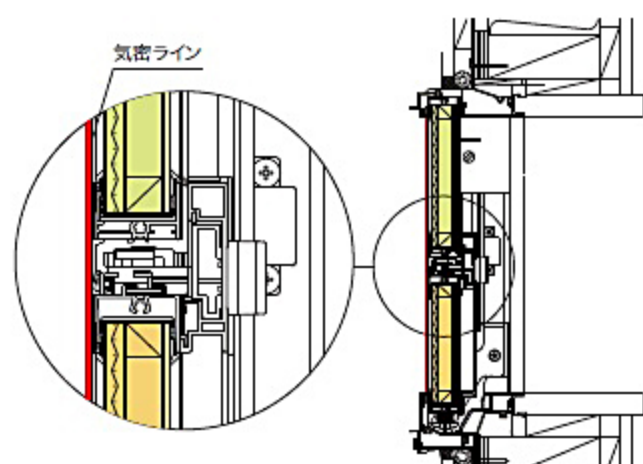
気密性能

A-4(2)等級

住宅全体の高断熱・高气密化は
開口部の気密性能がポイントです。

すきま風による冷気、暖気の流入を抑えることで、断熱性をさらに高めます。これにより、暖冷房費を抑え住宅の省エネルギー化にも貢献します。また、高断熱・高气密住宅に欠かせない計画換気を行うためにも必要な性能です。

上げ下げ窓FS(フラットスライド)は、業界初のフラットスライド構造により、安定した気密性能を確保できます。



防音性能

等級2/等級3(住宅性能表示)

断熱サッシは遮音性にも優れています。

クルマの騒音など外からの音の侵入や、楽器などの室内から外への音漏れも抑えます。

※ガラス厚によって異なりますので、各商品仕様をご覧ください。

防露性能

高い断熱性能により結露を軽減

人の健康、住まいの健康を

不快な結露からしっかりと守ります。

室外と室内の温度差や、室内の水蒸気などにより発生する結露。高い断熱性能の効果により、結露を抑えます。

【ご注意】生活環境や住まい方により、結露が発生する可能性があります。

耐風圧/水密性能

S-3(160)/W-4(35)等級

3階建てなどの高所や台風通過地域でも
安心の耐風圧・水密性能を実現しています。

引違い窓は枠の排水孔から排水弁を通して水を排出する構造で、レール間に溜まった水が見える不快感も解消しています。



排水弁

防火戸FGは、LIXILの環境配慮設計の視点に基づき開発されました。

断熱 室内側への露出を小さくしたサッシと高断熱複層ガラスの組み合わせにより、暖冷房エネルギーの削減に貢献します。

省資源 自社が定めた、製造法や原材料見直し、軽量化などの原材料使用量削減基準を満たす商品です。